

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和4年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第58号 令和3年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）
議員名・会派名等	市民力・立憲民主党(山中啓之・岡本優子・中西香澄)
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>※私たち市民力・立憲民主党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるとの考えから、以下、本会議・委員会など公の場で討論した内容を掲載いたします。</p> <p>「議案第58号 令和3年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）」について、会派を代表して反対の討論をいたします。</p> <p>本議案の反対の理由は、2月25日の健康福祉常任委員会において、執行部からの答弁に疑義が生じ、このあと審査される「議案第89号 松戸市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」との整合性が取れないのではと考えたからです。</p> <p>資本的支出、東松戸病院の建設改良費、医療機械購入費1214万9千円が本補正予算にて減額になりました。骨密度測定検査の機械を購入予定だったそうですが、削減の理由は「コロナ禍により患者数が減ったこと」とのことでした。本補正予算は、東松戸病院だけではなく、医療センターについても、コロナ禍からの回復を予測して計上したものだったが、コロナによる影響が大きく、実態に見合った数字に改め直し、提案された補正予算です。</p> <p>質疑をさせていただいた中で「令和4年度当初予算には入っていないが、令和5年度の当初予算に入ることもあるかもしれない」とのご答弁が唐突にありました。年度当初に計上されたものが年度内に削除され、又、次年度戻るかもしれない。この意思決定は、理解に苦しむものです。これでは「議案第89号 松戸市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」との整合性を測ることができません。議案第89号は「松戸市立福祉医療センター東松戸病院及び介護老人保健施設梨香苑は、令和6年3月末日をもって廃止するため」が提案理由となっており、東松戸病院及</p>

び梨香苑の廃止に向けて、病床の縮小等がスケジュールリングされており、令和4年度当初予算は減っていますし、令和5年度の当初予算は必然的に減らしていくことが想定されます。その中において、今回、購入を見合わせた医療機械購入費について執行部はなぜ、令和5年度の計上もあるようなご見解でいらっしゃるのでしょうか。まずもって、廃院するのであれば令和5年度に機器を購入することは妥当とは言えないです。

さらに、一度必要だと判断して予算計上した1214万9千円もの機器を年度内に判断を変更して取り下げていることは、病院の運営計画や判断に問題があると考えざるを得ません。議案第89号では、ここぞとばかりに廃止のための改正を急ぎ、一方で、令和5年度に1000万以上の新しい医療機械の再計上もありえらとするなら、東松戸病院を廃止したいのか継続したいのか、本市の姿勢が全くわかりません。最高責任者である本郷谷市長からは、東松戸病院の存続について市民にはおろか、私たち議会に対しても説明がないので本当にわかりません。

以上のことから、質疑に対する執行部からの説明は矛盾が生じており、議案第89号との整合性が不明瞭のため、反対といたします。